

藤枝市中心市街地活性化協議会 会議録

会議名	令和元年度 第1回藤枝市中心市街地活性化協議会
日時	令和元年5月29日(水) 14:00~14:50
場所	藤枝商工会議所 4Fホール
出席者	<p>会 長 山田壽久</p> <p>委 員 松浦正秋、大塚博巳、杉浦 衛、栗田隆生、木野浩満、内記秀夫、鈴木靖和、島村武慶、曾根克則、古川賢吾、仲田和好、青地春雄、栃本英雄、鈴木健夫、鈴木寿幸、高井賢一、大石甲太郎、殿村元二郎、山田 光、曾根正敏、青島鉄男、増井 貢、中澤 渉、水野 明</p> <p>委任状出席 オブザーバー 江崎晴城、秋田弘武、田口敏行、渡邊芳隆、藤枝警察署 石川武男(代理)、渡邊崇彦(代理) 静岡県交通基盤部都市局都市計画課 漆畑諭佳(代理)</p> <p>藤枝市中心市街地活性化推進課 課 長 清水康行 主 幹 岡村敏明 係 長 茂木啓輔 主任主事 松浦貴弘</p> <p>藤枝商工会議所経営支援課第二課 課 長 徳浪和浩 係 長 八木明日香</p>
内 容	<p>◆協議事項</p> <p>(1) 藤枝市中心市街地活性化基本計画(第3期)の定期フォローアップ報告について</p> <p>(2) 藤枝市中心市街地活性化基本計画(第3期)の第2回変更について</p> <p>◆情報交換</p>
会議の経過	<p>徳浪課長の司会により開会</p> <p>始めに、山田会長より挨拶があり、所属団体の役員改選等により、新たに委員になられた方の紹介を行った。</p> <p>§新たに委員になられた方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤枝市産業振興部長 内記秀夫 ・藤枝市産業振興部 商業観光局長 鈴木靖和 ・藤枝駅前商店街振興組合 理事長 古川賢吾 ・青島第6自治会長 大石甲太郎 ・藤枝市観光協会 事務局長 増井 貢 ・静岡県交通基盤部 都市局 都市計画課長 玉木 睦 (代理で都市計画課 漆畑主幹が出席) ・藤枝商工会議所常務理事 秋田弘武(欠席)

◆協議事項

(1) 藤枝市中心市街地活性化基本計画（第3期）の定期フォローアップ報告について

中心市街地活性化推進課岡村主幹が「資料1」に沿って説明。

定期フォローアップ報告の趣旨を説明。中心市街地の活性化に関する法律等に基づき、毎年度、計画における進捗状況や目標の達成状況についてのフォローアップを実施し、内閣府に報告する。中心市街地活性化基本計画（第3期）では、4つの目標とそれぞれの指標があり、平成30年度はすべて対基準値を上回った。

指標	H28年度 (基準値)	H30年度	対基準値	R4年度 (目標値)	備考
居住人口[社会増]	93	198	+105	103	
空き店舗数(減少)	49	46	-3	36	
昼間の歩行者通行量	7,356	7,380	+24	8,020	基準値一部H29
イベント来場者数	53,319	53,833	+514	62,000	

説明終了後、山田会長より指標についての意見を求めた。

・ 駅南地区活性化連絡会議座長 仲田委員

全国的にみると各商店街、空き店舗が増加している状態であるが、中心市街地領域の中では▲3件である。これは、中心市街地活性化の推進により都市としての魅力が上がってきたからではないか。進出の店舗はマーケティング調査をしてきているはずなので魅力のある街に出店してくる。中心市街地領域内でも特に駅前に店舗が集中していて、区域内の移動もある。喜多町にいた店舗が駅前に移り、喜多町に空き店舗が増える、といった状況もある。小規模の事業者にとって、行政が行っている空き店舗対策の支援制度は非常に助かっている。この制度を積極的に活用していただきたい。

問題点としては、家賃の高騰と駐車場不足。特に従業員の駐車場がなく、事業所の入居がしにくいという状況。

いずれにしても、中心市街地については商業者にとって魅力的な街になってきており、空き店舗は3件のみの減少だが、増加ではなく減少していることが大きな成果である。

・ ミキネウエスト管理組合理事長 鈴木委員

藤枝ミキネが完成してから一年少々経つ。ミキネや市営藤枝駅北口駐車場についての認知が広がってきたと感じている。昼間の通行量が+24ということで、調査した場所や状況にもよるが、少なくともミキネの北側、市営藤枝駅北口駐車場から駅までの通りは確実に通行量が増えている。幼い子連れの親子やマンションの住人、駐車場の利用者等、昼間の時間帯に歩いている方を多く見かけ、数字以上に増えていると感じる。今後駅の南側にしずてつストアがオープンすればより回遊性が生まれ、駅周辺のさらなるにぎわいが期待できる。

・ 藤枝市商店街連合会会長 曾根委員

目標値に対し、大変よい結果が出ており喜ばしい。イベントについても、当初まちづくり藤枝が始めた頃は手探りの様子であったが、今では駅南広場、駅南の通り、駅前で集客が見

込めるイベントになっていて進歩を感じる。昼間の通行量については藤枝ミキネよりも一本北側の富士見町通りになるとほぼ変わっていない状況。ハードが整備され駅周辺に人口が増えている中で、商店街への誘客が難しい。駅周辺の商店街も足並みをそろえて魅力的なイベント等で人を呼べるよう頑張っていきたい。

・藤枝駅前商店街振興組合理事長 古川委員

4つの目標指標について、商店街振興組合としても駅前のにぎわいをとても実感している。今後10年後、20年後も継続し、藤枝全体がさらに発展していけるような取り組みをしていくことが最終的な目標ではないかと思う。駅前商店街としても持続し、より活性化していけるようなまちづくりをしていきたいと考えている。居住人口については、マンション再開発等でこれからも増えていくと思う。空き店舗については、駅前商店街はアーケードが取れて2階の店舗へも入っていただけている状況。改装して新しい価値を生み出すリノベーションを行ってもらい取り組みも考えている。昼間の歩行者通行量については、マンションの居住者だと昼間は仕事で市外に出ている方も多いため、さらに伸ばしていくためにビジネスで雇用を生み出す仕組みが必要と考える。イベント来場者数については、去年はいちばん来場者数が見込める納涼市が台風の影響で中止になったので、今年度は予備日を設ける等の対策を行って開催できるようにしていきたい。近隣の富士見町、日の出町、喜多町、駅南の商店街とそれぞれの特色を活かし、連携した取り組みにより駅周辺のさらなるにぎわいを創出していきたい。

・駅南地区活性化連絡会議座長 仲田委員

イベントについては、継続して行っていることが地域の情報発信という点でも非常によいことだと感じている。最近では民間の事業者もイベントを独自で開催するようになった。民間と地域、行政との連携は大事で、非常にうまくいっている状況だと思う。イルミネーションも冬の風物詩として定着してきている。イベントの中身も濃くなってきている。駅周辺を地域全体で盛り上げていけば必然的に転入者も増加していくと思う。

以上を持って、原案通り承認。

委員からの意見を反映したフォローアップを内閣府に報告する。

(2) 藤枝市中心市街地活性化基本計画（第3期）の第2回変更について

中心市街地活性化推進課茂木係長が資料2、に沿って説明。

事業の追加や事業内容の変更が生じたため、変更認定申請を行う旨説明。

85事業で計画を推進してきたが新たに4事業追加して89事業で計画を推進していく。

1. 新規事業の追加

① スポーツ拠点賑わい創出事業

熱中症対策として市民体育館・市武道館に空調機を設置する事業。

施設利用者の増加に繋がり、歩行者通行量やイベント来場者数の増加に寄与。

② お試し移住事業

アクティブシニアの流れ（移住・定住）を呼び込むことを目的に、街なか居住の確保と

別に実施する 地域活動等への支援を行う移住体験事業。

街なか居住に繋がり、居住人口の増加とともに歩行者通行量の増加に寄与。

③街なか多世代交流推進事業

講座やイベント等を開催し、高齢世代や子育て世代など幅広い世代の交流機会を創出。高齢者一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援することにより、居住人口の増加に寄与。

④駅前広场景観形成事業

駅前広場空間を活用したイベントを効果的に開催するため、駅前広場を整 備する事業。

イベント空間を確保すると共に、高質な景観形成と利便性向上により更なる賑わい創出を図り、イベント来場者数や歩行者通行量の増加に寄与。

2. 記載の変更（支援措置の変更）

①街なかシェアサイクル構築事業

地方創生推進交付金 ⇒ 社会資本整備総合交付金

②田沼街道踏切改良事業

支援措置なし ⇒ 社会資本整備総合交付金

3 記載の変更（その他の変更）

以下4事業については、実施主体や名称の軽微な変更がある。

①トライアルスペース開設・運営事業、街なかストックリノベーション事業

②地元企業ICT導入促進事業

③田沼一丁目18地区商業施設整備事業

④起業チャレンジャー支援拠点化事業

<今後のスケジュール>

5月29日 中心市街地活性化協議会への意見聴取

6月下旬 変更認定申請

7月下旬 変更認定

説明終了後、山田会長より質問・意見を求めたが特になく、原案通り承認。

◆情報交換

・藤枝市都市建設部長 木野委員

藤枝市の取り組みが、コンパクトなまちづくりを進めている自治体を表彰する「第1回コンパクトなまちづくり大賞」の総合戦略部門で、最高賞の国土交通大臣賞に選ばれた。中心市街地における官民連携による再開発事業やにぎわいの創出としての LOVE LOCAL FUJIEDA 事業、スマートモビリティへの挑戦としてのシェアサイクルの導入、ICTを活用した防災のまちづくり、蓮華寺池公園の再整備等の事業が評価され、特に中心市街地活性化

基本計画に基づいたまちづくりへの取り組みの成果が高く評価された。授賞式は6月14日、東京で国土交通大臣から授与していただく。

・藤枝市観光協会事務局長 増井委員

観光案内所が1月にリニューアルされ、売上も順調に伸びてきている。4月の売上は150万ほど。以前は観光案内が業務の7割くらいを占めていたが、現在は商品の販売が7割、観光案内が3割ほどと逆転。藤枝を代表するような銘菓、お茶、MYFCのサッカーグッズなどを販売し、常時2名の職員が対応している。観光案内所としては、地元の商店街に協力し、藤枝市の地場産業のPRや中心市街地の活性化に寄与していきたい。

・青島第6自治会長 大石委員

青木中央公園が整備され、自治会や関係団体によるイベントを開催している。毎年5月5日には他地区からも子供たちが集まるようなイベントも行っており、少しはイベント来場者数に寄与している。毎年2月11日には、藤枝市の国保年金課に協力いただいて青木健康まつりを開催。健康に関心のある年配の方の参加が多い。その場で体力測定や肌年齢チェックができるので、好評いただいている。青木に来ていただくきっかけになれば、と思っている。

・ミキネウエスト管理組合理事長 鈴木委員

藤枝駅前一丁目9街区の再開発が進んできている。場所は再開発で完成したミキネ（8街区）の向かい側の地域で、どちらも日の出町という同じ町内会。8街区の再開発を目の当たりにした9街区の住民たちから、自分たちも再開発をしたいという声が出てきた。昨年度までに有志でまちづくり勉強会を4回行った。この度、藤枝市の駅前地区市街地総合再生基本計画に再開発の候補地として選ばれ、改めて藤枝駅前一丁目9街区まちづくり研究会という新しい組織を立ち上げ4月27日に設立総会を開催した。なるべく早く実現できるよう一丸となって取り組んでいきたい。

・藤枝市副市長 栗田委員

コンパクトなまちづくり大賞については、“はたして藤枝は大賞を獲得ほどのまちなのか”という疑問がある。とは言え、地道に10年やってきた成果なのかもしれない。決してこれに満足せず、さらなる推進を図っていきたい。

また、前年度、島田や焼津から藤枝に入ってくる方よりも藤枝から島田や焼津に出ていく方の数が上回った。過去10年で初めてのこと。調査を行ったところ、若い結婚間近の夫婦にとって藤枝周辺は賃借料が高いことから、藤枝に近い西焼津や六合のアパートに転出していくケースが見受けられた。6月議会では、結婚3年以内で子どもがいない40歳未満の市外在住の夫婦を対象に、市内の賃貸住宅への移住費を補助する仲良し夫婦助成という支援事業の導入を試み、人口対策を図っていく。

以上